

海外のスポーツ環境を目指すクラブを設立・代表の宮城哲郎さん

(総合型スポーツクラブサンビスカス沖縄 沖縄県沖縄市)

1. ブラジルでプレー経験ありのサッカー選手

那覇空港から国道58号線を北へ進み、国体道路を上っていくと英語標示の店が目立ち始めます。身長の高い筋肉隆々の外国人が多く歩いていて、ここは海外ではないかと目を疑う風景がある街がコザです。戦後、日本が復興し経済成長を遂げる中、隣接する米軍基地のアメリカ兵と「うちなーんちゅ(沖縄の人という意味)」が交流する拠点となり発展してきました。

今回、紹介する宮城哲郎さんはコザを中心に活動している「総合型スポーツクラブサンビスカス沖縄」(以下、サンビスカス沖縄)の代表者です。クラブスタッフの若さは沖縄一で、ほとんどが20代という若さ溢れるエネルギッシュなクラブです。

宮城さんは高校から大学を経て、沖縄でJリーグを目指す「FC琉球」に約5年間在籍し、県リーグ3部から躍進する原動力として活躍しました。

その後、ブラジルのプロチームで1シーズン、プレーして帰国しました。県内外のサッカークラブからオファーを受けたものの引退し、ブラジルで見たサッカークラブを沖縄でも出来ないか考えたそうです。

宮城さん曰く「ブラジルではサッカーが日常生活に浸透し、毎日子どもからお年寄りまで気軽に運動できる環境があって、とてもうらやましかった」そうです。そこから、宮城さんの挑戦が始まりました。



2. 自分たちが面白いと思うことを共有したい

宮城さんは平成20年、ブラジルから帰国後、情報を集めていく中で「総合型地域スポーツクラブ」という言葉を初めて聞き、すぐに toto 助成事業(総合型地域スポーツクラブ創設支援事業)へ申請、審査は無事に通り助成事業を受けることができました。特筆すべきことは、すでにその時点で宮城さんの頭の中で今後のマスタープランが描かれており、クラブづくりの指針になっていたことです。

まずは設立準備委員全員で、マスタープランを共有することからのスタートでした。幾度も会議を重ね他のメンバーに説明し、関係者が理解し活動が軌道に乗り始めるまでには1年近くかかりました。しかしそのおかげで、当初のマスタープラン通りに、サンビスカス沖縄は成長しています。宮城さんの情熱と努力が周りにも伝わり、クラブのメンバーも宮城さんのポリシーである「自分たちが面白いと思うことを、周りにも面白いと思ってもらえる努力をする」ことに共感したからではないでしょうか。

3. 市役所で「営業」して、受けるようになった相談や事業

宮城さんは、なぜアスリートを引退してまでクラブづくりを行っているのでしょうか。宮城さんの答えは、「自分自身がやりたいクラブをつくりたかったのが1番の理由です。そして、2つ目にアスリート自身、いつまでもアスリートとして



生活するのは難しい。だからこそ、スポーツの技術指導だけでなく、その他の力を付けないといけないと思います」でした。

実際、宮城さんはスポーツ指導の傍ら、積極的に市役所等へ挨拶や情報収集などに行っています。他のクラブでは行っていないようですが、宮城さんは市役所の1階から全部の階へ「クラブの営業」に行ったそうです。初めは誰にも全く相手にされず何度も挫折しそうになりましたが、今では市民スポーツ課以外の様々な事業や相談等も受けるようになったそうです。

柱となっている事業に「保育園巡回指導」があります。これは、市内の保育園を巡回し基礎的な体操や運動を子どもたちに体験してもらう事業で、クラブから指導者が派遣されています。保育園も専門的な指導者が巡回してくれるということで、非常に高い評価を受けています。

4. アスリートとクラブをつなぐコーディネーターが必要

また、サンビスカス沖縄はサッカーが柱となっていますが、サッカーのジュニア部門は「アカデミー部門」と「スクール部門」に分かれています。「アカデミー部門」は、サンビスカス沖縄の会員であり、サッカーの技術だけでなく生活態度なども含めた指導を行います。クラブは家族のような存在であり、技術以外のことも指導することで、より良い人材養成に繋がるという宮城さんの想いが形となっています。

「スクール部門」は、部活動に所属していない子どもたちを集めて行っている教室です。教室は参加費を無料とし、サッカーをしたい子どもたちの門戸を広げることをねらいとしています。今後は、教室に参加した子どもたちがクラブの会員になることを目指しています。

最後に「アスリートが総合型クラブに関わるために必要な支援」について質問してみました。「アスリートとクラブをつなぐコーディネーター」と答えが返ってきました。アスリートはスポーツをすることに専念し、セカンドキャリアとして自分を売り込む術を知らない人が多いと感じているそうです。だからこそ、アスリートが活躍できる場をコーディネートする支援によって、より多くのアスリートがクラブと関わるようになると思うそうです。



(慶田花英太 沖縄県クラブ育成アドバイザー)

【総合型スポーツクラブ サンビスカス沖縄 プロフィール】

1. 設立

設立年月日：平成 23 年 3 月 21 日

2. 地域

人口：沖縄市 131,405 人（平成 24 年 1 月現在）

特性：さまざまな地域・国籍の人たちが住んでいる独特な文化の街。

3. クラブ

会員数：約 70 名（平成 24 年 1 月現在）、スポーツ教室等参加者延べ 4,500 名

4. 連絡先

〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬 1-15-60 シーサイド泡瀬 101

TEL/FAX：098-989-4695

Email：sunbiscusokinawa@yahoo.co.jp

URL：<http://www.sunbiscusokinawa.com/index.php>

関連リンク：慶田花英太氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/47.html>